

丸山湿原群保全の会会報

(第 204 号)

発行日：2024年（R6）7月17日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com

保全の会 HP・blog

戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！

7月も後半。この時期はカブトムシやクワガタの季節。実は私は子ども時代、それほど昆虫採集には興味がなく、夏休みのラジオ体操の時など、友達が得意げに持って来ていたのを眺めて「いいな～」と指をくわえていたタイプの子供でした。最近なぜかこの手の虫にご縁があり、よく捕まえたり写真に撮ったりします。

面白いのは呼び名。西谷地域（だけか？）ではクワガタ全般のことを「ゲンジ」と呼びます。「今日ゲンジ捕りに行く？」と。おそらく「源氏」。では「平家」は？実はノコギリクワガタを「ハイケ」と。ハイケでも角の発達したものを「スイギユウ＝水牛」まっすぐなものを「ノコギリ＝鋸」と。さらにミヤマクワガタを「カジワラ＝梶原」。記憶が曖昧ですが、「コクワガタ」を「ハタモチ＝旗持ち」。「ダマシ」とか「ホンゲンジ」とか…。InstagramやFBで「#ゲンジ」をタップすると、数は少ないものの「クワガタ」が出てきます。「平家物語」に由来か？「カジワラ」が出てくるのなら他のキャラクターが出てきてもいいのではないかと考えていると。FBの友達が面白いサイトを見つけてくれました。「昆虫の呼び方に関するアンケート結果」

<http://snicurtis.web.fc2.com/called.html>です。覗いてみると、やはり「アツモリ＝敦盛」が「ノコギリクワガタ」として登場。「クマガヤ＝熊谷」も欲しいところですがこれは見当たらず。しかし、どこかの地方名としてありそうな気がします。

やはり優雅？で、赤っぽいシュッとしたクワガタが「ハイケ」か？武骨で「坂東武者」っぽいのが「カジワラ」となった？勝者の「源氏」が「クワガタ＝鍬形」の総称となったのでしょうか？

地方名は面白い。でも今は通じないのも事実。理科のテストで「ミヤマクワガタ」を「カジワラ」とは書けない。標準和名はしかもカタカナ表記。ちと悲しい…

(今住 7月15日作成)

またまた前号の訂正 ★竹筒ポスト カウント数減少のナゾ判明！と誤字…

前号で孟宗竹を使った「新ポストのカウント数なぜか減少！」の謎が判明しました。いたって単純。交換した古い竹筒ポストに入っていた石の数をカウントしていませんでした。メモとして預かっていたのですが…すっかり忘れていて、財布に札束？とともに紛れ込んでいました。役員より前日の夜遅く（ゲラ確認で）連絡が入ったのですが、間に合わず発行となりました。大変申しわけありません。ゲラを送るのが遅いのです… **5月来場者数計は139名→209名**となりました。誰も気にしていないと思いますがご確認ください。

2024年6月8日	
目的	市内
山湿原群	23
ハイキング	18
散歩	3
時間	
	10:05
	10:27
	10:47

発見されたメモ

それと「誤字」これは毎回知らんぷりするのですが…**枯死木の経→「径」**ですので、よい子の皆さんは、漢字のテスト、数学などで間違わないように気を付けましょう。ちなみに「径」には「まっすぐな道」、「経」には「縦糸とか、すじ道」の意味があるようです。なるほど経度は縦（南北）！

やまぼうし保育園本園 ★6月15日(土) やまぼうし保育園本園(中筋)

前回の積み残し「やまぼうし保育園本園」です。「やまぼうし保育園」何度も来ているイメージ



出発前の水分補給 コップで
った気分です…次の日は15歳ぐらい老け込む？(疲労)ハハハ冗談？

なんですが、「本園」は初めて。しかも土曜日に。???本園は規模が大きく、例の「園長バス～ハイエース改造型(もちろん合法)」に全員が乗車できないとのこと。分園や「はなみずき保育園」は乗車定員内。そこで、希望者を募集し土曜日に実施。いや、ありがたいことです。ガイドの年齢層は高いですが、若さをいつも分けていただいています。保育園と活動した後はそうですね～10歳は若返

この日、天気はいいがちと様子が違う。だれも水筒を持っていない。なぜ?「園長!熱中症対策はいいのか?」伺うと「消費者庁」から注意喚起が出ているとのこと。幼児が水筒を肩からぶら下げて活動すると、転倒時に胸や内臓にダメージを受けることがあるそう



暑いけど気持ちがいい～
(自然体験して)帰りました。

な。また、かけ紐が引っ掛かり事故が起こることもあるそう…。「今まで大丈夫だったからこれからも大丈夫」とは言えない。予防的措置をと。ということで水分は定期的に引率者が配布。持ち運びは大変ですが、これまでも「水分補給!水分補給!」と声掛けはしていたものの、家に帰って水筒を保護者が確認するとほとんど飲んでいなかったこともあるそうです。納得です。



休憩タイム 水分配給中

活動は湿原～はげ山のコース。ハッチョウトンボはやっぱり少なく大丈夫かいな?と思うガイド。園児には全く関係なし。伸び伸び楽しく遊んで

西谷小学校環境学習 ★6月17日(月) 環境学習フィールド①

複式学級になってから2年目のフィールド。3年生と4年生。3年生は欠席もあり4人?ちと寂しい。が、4年生は2回目ということで「勝手知ったるなんちゃら」です。のびの～び。しかも未だ梅雨に入らずますますの天気。

最初にバスから降りてきたのは水槽に入ったサワガニ(沢蟹)。学校からの持参です。なんと昨年10月に持ち帰って飼育していた個体が、大きくなって里帰り。



里帰りのサワガニ君

ま～よくぞ生きて帰ってきました。感動!です。「お世話誰が一番頑張ったの?」の質問に、ためらうことなく「先生!」素晴らしい!

さっそく小川に向かいます。ツチアケビを見て、新調竹筒ポストに感動し、いざ川へ!「逃がします」のひと声で先生の目に涙…よく見えませんが。次の瞬間「カニを捕まえるぞ～!」????



新たに捕まったサワガニ君

3年生は初めてですし…何か奇妙な光景ではありました。今回はしっかり捕まえ、しばらく水槽で観察した後リリースいたしました。石をめくるのは楽しいものです。



ツチアケビの後ろでポーズ 何の?

湿原に向かい、ハッチョウトンボを探します。第3湿原、見つからず。第1湿原も視点場からは見つからず。「まずい…」と心の声が囁きます。一生懸命探しますがなぜかない…では第4湿原へ。

さてさて…なんとトキソウがたくさん咲いています。これにはガイドがびっくり。昨年より約1週間の遅れ。これが何を意味するのかわかりませんが？ま〜こんな年もあるということで。咲いてよかった。しかし、ここでもハッチョウトンボ（ハ丁蜻蛉）の赤い雄は見れず、メスの麦わらのみ。本当に少ない。

ま〜こんな年もあると。

山へ行きたいというので、「お茶濁し」でシルトロードを登る。4年生はあの見晴らしのよいはげ山を経験しているので不満顔。しか〜し！ここで女子児童が「この花な〜に？」と。なんと山のてっぺん（ハゲ山）近くにもかかわらずヤマトキソウ（山朱鷲草）が。湿生植物です。イシモチソウなどと同じような環境に生育する植物。しかも絶滅危惧種です。キラキラ眼には驚きました。でもなんでこんなところに。ポツンと1株だけ。神出鬼没。多年草だが毎年同じところにあるとは限らない。見つけにくい。とにかく発見



山頂付近のヤマトキソウ

者に感心しました。なんとも言いますがハゲ山（ズリ）てっぺん近くですよ。もうこれで十分とガイドは思っていたのですが、「あの山の上行こうや〜」の声に押され、らくちんコースでズリ山へ。眺めを楽しみ、ズリを下り。再び第3湿原上手へ。ハッチョウトンボをもう一度確認するも…という結果に。今回は「自然は予定通りにはならない」をテーマとしておきましょう。時間もここまで。カレーライスの待つ学校へ帰って行きました。次回は秋。食べるものがたくさんあればいいのですが。待ってるで。



なぜかトキソウが… 見えますか？



眺めのいいところは気持ちがいい！

淡路島から ★6月20日（木）「淡路島公園楽しもう会」ご案内！

昨年ガイド研修でお世話になった「あわじ石の寝屋緑地（湿地）」。そこで交流を持たせていただいた「淡路島公園楽しもう会」の皆さんがお越しになりました。

午前中は丸山湿原。午後は「西谷の森公園」の戸山湿地で観察会。「楽しもう会」の皆さんは、普段「湿原」に特にこだわることなく「県立淡路島公園」をフィールドに活動されています。

今回は普段目にしない湿原の植物を中心にご案内。午前は丸山湿原群保全の会のメンバーが、午後は「森公園」のボランティアスタッフも兼ねているメンバーが戸山湿地をご案内しました。

私は午後のみ参加。（ボランティアスタッフではないですが…）お話を聞くと、淡路島以外から通っている方もおられるとのこと。びっくりしたのですが、よく考えるとうちも「西谷」や宝塚市外からの参加が多い。橋のハードルはあるものの意外に近いのかもしれない。考え方次第ですね。

今後ともよろしく願いいたします。



淡路島では見られない光景に感動？



「西谷の森公園」農舎の前で記念写真

総会報告 ★6月23日(日) 午前の作業は雨天で中止。午後の総会は予定通りに。

前日からの雨天予報。総会のみの実施となりました。会員総数 39 名。(法人会員・当日加入 1 名を含む) 出席 19 名、委任 16、欠席 4。総会は成立。

議事内容(事前送付)はすべて承認されました。意見として「作業時間(作業量)が少なすぎる、午後も作業をしては?」「夏季は1時間早めてスタートしては?」など出されました。午後の作業については「居残り自由」とし、危険回避のため複数名での活動を条件としました。時間を早める件は寝坊助が多いのか不採用。会費は今年度も 2,000 円(保険代込み)と決定。

ガイドツアーについては、9月7日(土)に岡山県「鯉ヶ窪湿原」となりました。会員には案内を送付(同封・添付)しますのでお申し込みください。

定期活動 ★7月13日(土) 基礎調査 臨時作業 9名で活動

目的	市内	市外
丸山	71	78
登山・ハイキング	43	59
散歩	5	8

来場者数計 264 人
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導(EC)	PH
入口	10:13	28.0℃		
第3湿原	10:50	【26.3℃】	40.0 μS/cm	7.3
視点場	11:08	31.4℃	51.1 μS/cm	6.1
第1湿原	11:14	【28.5℃】	38.8 μS/cm	6.4
第2湿原	11:30	【26.6℃】	37.9 μS/cm	6.4

竹筒ポストの謎も無事解決! 意気揚々とカウントを…がなんと左右両方のポストにアリが巣を。



白い粒粒はみんな卵 細かいアリ



サギソウ観察ルートササ刈り



歩道の倒木 撤去

ポストの中の小石とともに、アリと卵がドバッと出てきました。イメージとして(決めつけ)アリは土の中に穴を掘り、いくつも部屋を作り女王蟻を中心とした家族社会を作る? なんて? アリはアリで突然の災難。パニックを起こし卵をとにかくどこかへ運ぼうと必死です。瞬間的に卵をくわえ救う行動。巣を守るためだけに産まれた性か? 「まず自分が大事」という考え方はないようです。出てきたのは細かな「ヒメアリ(姫蟻)?」か、もうひとつの結構大きい種は???

作業はサギソウ開花数調査のルート確保。ササ刈りと柴刈り。その間、やはり数は少ないが近くをハッチョウトンボが飛んでいました。今回目立ったのはジャノメチョウ(蛇目蝶)。チョウに詳しい会員からは、なぜかだんだん黒みを帯びてきているとのこと。温暖化による影響か? ミカヅキグサ(三日月草)が全盛期ですがやはり地味。ミミカキグサ(耳搔草)・ムラサキミミカキグサ(紫耳搔草)もたくさん咲いてきました。作業・観測後、帰り道では枯れアカマツが道をふさいでいました。通行できるように処理。蒸し暑かったのですがよく頑張りました! 8月10日(土)サギソウ開花数調査です。ぜひ! せやけど…咲くんやろか? お申込みは HP からお願いします。たからづか ECO 講座同時開催。(第2回を兼ねる) オープン参加です。



やや大きいアリ



すぐ飛ぶ ジャノメチョウ

サギソウ開花数調査

調査員募集

2024年8月10日(土)

丸山湿原(9:50 湿原駐車場集合)

(定員) 20名(先着順・無料)

丸山湿原エコミュージアム推進協議会(主催)

環境都市環境推進市民会議(後援)

丸山湿原群保全の会(実施団体)

丸山湿原群

兵庫県天然記念物

《申し込み》ホームページよりお申し込みください

<https://www.hitosato.com/maruyama-shitsugun-hozonokai/>

《問い合わせ先》丸山湿原群保全の会

Mail: manyamashitsugun@gmail.com

参加される方は、動きやすい服装、厚底の靴でお越しください。また、高湿が予想されるので水分補給、体調管理は各自で責任をお持ちください。携帯電話は使えません。お昼ご飯にはおかわりできません。

次回活動日 7月28日(日) 8月10日(土) サギソウ開花数調査 25日(日) 9月14日(土)